

辺と角を使って かこう

ステップ 5/8

れんしゅう



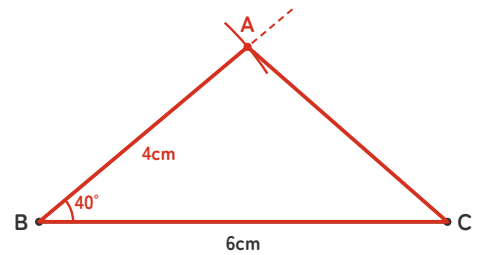
ポイント

「2つの^{へん}辺とその間の^{かく}角」か「1つの^{へん}辺とその^{りょう}両はしの^{かく}角」でかける。
 辺BCを^{かいて}かいてから、^{ぶんどき}分度器で角をはかろう。解答の図は少し^{しゅくしやう}縮小しています。

1 ^{へん}辺BC 6cm、^{かく}角B 40° 、^{へん}辺AB 4cm の^{さんかくけい}三角形ABCを、□に数を書きながらかきましょう。

きほん

- ① ^{へん}辺BCをかく。(かいてあります)
- ② ^{ぶんどき}分度器で、点Bに **40** $^\circ$ の角をはかって線をひく。
- ③ その線の上に、点Bから **4** cmの点Aをとる。
- ④ AとCを^{むす}結ぶ。

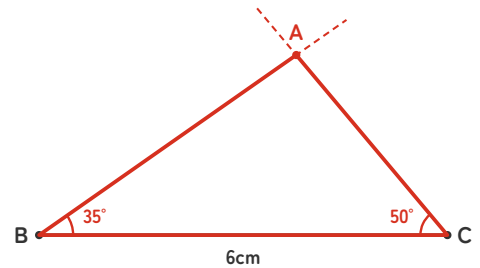


2つの^{へん}辺 (BC・AB) と、その間の^{かく}角Bを使う。ACは^{はか}測らなくてよい。

2 ^{へん}辺BC 6cm、^{かく}角B 35° 、^{かく}角C 50° の^{さんかくけい}三角形ABCを、□に数を書きながらかきましょう。

きほん

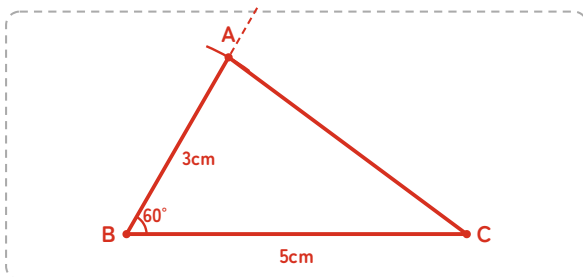
- ① ^{へん}辺BCをかく。(かいてあります)
- ② 点Bで **35** $^\circ$ 、点Cで **50** $^\circ$ の線をひく。
- ③ 2本の線が交わった点A。



1つの^{へん}辺 (BC) と、その^{りょう}両はしの^{かく}角B・角Cを使う。

3 ^{へん}辺BC 5cm、^{かく}角B 60° 、^{へん}辺AB 3cm の^{さんかくけい}三角形ABCをかきましょう。

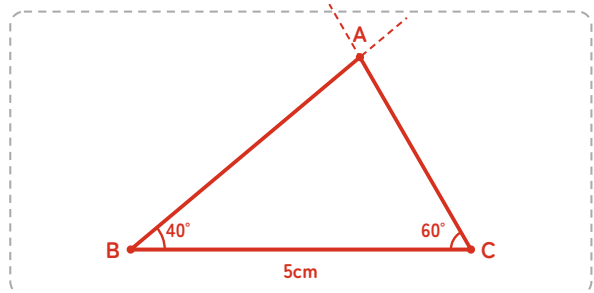
きほん



^{へん}辺BC → ^{かく}角B 60° → ^{へん}辺AB 3cmの^{じゆん}順。

4 ^{へん}辺BC 5cm、^{かく}角B 40° 、^{かく}角C 60° の^{さんかくけい}三角形ABCをかきましょう。

きほん



^{へん}辺ABが約4.4cm、^{へん}辺ACが約3.3cmになっていればよい。

5 ^{へん}辺BC 5cm、^{かく}角B 100° 、^{かく}角C 90° の^{さんかくけい}三角形はかけますか。

★チャレンジ

かける ・ **かけない**

わけに○

ア 点Bと点Cからひいた2本の^{まじ}線が交わらない

イ 辺BCが短すぎる

角Bが 90° より大きいので、Bからひいた線は左上に^{ひら}開き、Cから^{まじ}真上にひいた線と交わらない。

^{こた}答えを見たら、もういちどやってみよう。

^{あか}赤い字が^{こた}答え。